

「小手指ヶ原公園」の公開質問状への回答

2023年10月2日 杉田まどか

こんにちは。先日は留守にされていて申し訳ありませんでした。はじめに「緑綬褒章」の授賞おめでとうございます。ご質問について以下に私の意見を回答します。

1について

R6年の事業はこのタイミングでは無理だと考えます。R5年の夏から来年度の予算編成が始まります。このような事業の予算は大規模なので、財源の検討からしなくてはなりません。お気持ちは資料からもよくわかりますが、現実的でないと思います。またこの規模の事業は長期にわたるため、莫大な予算が必要となりR7年以降の検討になります。所沢市総合計画・後期基本計画にこの規模の事業は記載が必要となります。財源の確保を含め、近隣自治体の類似した事例を調査研究し、検討したいと思います。

2について

当選したあかつきには話し合いの場を設けたいと思います。

3について

おおたかの森トラストの活動は長く存じ上げております。以前9年程度南陵中学裏にてケアマネジャーの自宅兼事務所を運営していました。長女は南小に通い様々な地域活動に参加「トラスト運動の足立さん」の話を家でもしていました。その後安松小に転校、ピオトープの活動も存じ上げております。現在は私自身がカルチャーパークのふるさと公園応援隊の活動で毎月ゴミ拾いをしたり、グリーンフォレストネットワークの狭山丘陵の保全活動に参加したり微力ですが、自然にかかわる活動を仲間とともにしています。現在の活動を通じ長女19歳が小学生だった時と比べ育児を支える環境は大変し共働きで何とか生活を維持する家庭も増えています。私自身が様々な地域活動に参加して感じるのはボランティア不足です。PTA活動も環境保全関連の地域活動も、スポーツ大会を支えるボランティアの皆様に私の世代はなかなか参加できません。これからの課題は、公園の保全も含めた地域や自治会ボランティアの方々の活動をどのように維持させていくのかが大きな課題だと感じています。